

# 「高千穂郷」通信



1月21日(木)～23日(土)の3日間、今年最初の牛のセリ市が高千穂家畜市場にて開催されました。初日のセリ市開始前には、今年1年の市場の盛況を祈願し鏡開きが行われました。

子牛セリでは2日間で529頭の子牛がセリにかけられ、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が心配されたものの、子牛1頭あたりの平均価格は約79万円と、昨年並みの高値での取引となりました。

先行き不透明な状況ですが、今年は丑年。牛の歩みのように着実に前に進んでいくことができるように、関係機関一体となって西臼杵の畜産振興に取り組んでいきます！



忘れない そして 前へ



## 合同会社あまてらすの娘たち（高千穂町） 宮崎日日新聞農業技術賞を受賞



合同会社あまてらすの娘たちが第63回（令和2年度）宮崎日日新聞農業技術賞を受賞し、代表の佐藤孝子さんと坂本佐代美さんに賞状とトロフィーが贈呈されました。本来は、令和3年1月15日（金）に宮日会館にて贈呈式が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、25日（月）に西臼杵支庁にて支庁長から贈呈されました。

合同会社あまてらすの娘たちは、平成28年に佐藤さんと坂本さんが合同で設立し、「食を伝える、食で繋がる」を経営理念とし、農産加工所「そよ風工房」、農家カフェ「風の道」、山の学校レストラン「菜膳」で、両氏が生産した農産物や西臼杵地域の食材を用いた食事の提供や農産加工品の販売を行っています。また、加工品に使用するきんかんやゆずの種取りを町内の福祉作業所に依頼するなど、農福連携にも積極的に取り組まれています。

コロナ禍で厳しい日々が続いていますが、高千穂の文化・伝統を「食」という目線で世に伝え、「食」によるご縁で人と人がつながっていくことを目指し、これからも地域の活性化にも貢献されることをご期待申し上げます。

## 完熟きんかんの出荷が始まっています



完熟きんかんの出荷が1月14日（木）に解禁され、順調に出荷が行われています。完熟きんかんは、花が咲いてから210日以上樹上で育てられたものです。温度や水分など細かな管理がおいしさの秘密です。生産者が果実ひとつひとつを大切に育て収穫しています。

1月中旬から3月頃までが旬で、じっくり熟した果実は、生で皮ごと食べることで、華やかな香りと甘さを感じることができます。中でも基準をクリアした果実は「たまたま」としてブランド化されており、ビタミンCやビタミンEが多く含まれています。冬場しか味わえない生のきんかんを是非食べてみてください。



## 令和3年新春初市開催



1月6日（水）に高千穂林産物流通センターにて原木の初市が開催されました。

当日は時折雪がちらつくなど寒い中で行われましたが、西臼杵支庁長や三町の首長、佐藤県議が活気あふれる売り子となって入札が始まり、15千円/m<sup>3</sup>の落札もあるなど景気のよいスタートをきることができました。

新型コロナウイルスの影響で去年は一時原木価格が下落しましたが、県内での原木出荷の抑制策や熊本県の豪雨災害の影響で隣県からの買い手が増えたことなどにより価格は持ち直しているところであります。

しかしながらコロナの収束の見通しが読めないことから、今後も業界一体となって原木価格の維持向上に努めていきたいと思っております。

## 安全・安心！交通事故のない西臼杵を目指して



1月8日（金）、高千穂神社にて、新年交通安全祈願祭が行われ、今年一年の交通安全を願いました。警察庁と日本自動車連盟（JAF）の2020年の調査で、本県は、一般道での後部座席シートベルト着用率が19.7%で、2年連続全国ワースト2位という残念な結果となっています。シートベルトを着用しない場合、事故の時に車内の物や同乗者にぶつかってけがをしたり、窓から車外に放り出されたりする危険性が高まります。

安全運転をする上で、交通ルールを遵守することはもちろんですが、西臼杵の冬期は積雪や路面凍結にも注意が必要です。管内を走行される際は、スタッドレスタイヤの装着やチェーンの携行に加え、事前に宮崎県道路規制情報（音声サービス：0985-35-3202）で道路状況をご確認くださいと安心です。

普段よりも注意を払った運転を心がけ交通事故のない安心・安全な西臼杵を目指しましょう！



道路規制情報を  
スマホでチェック！



滅の刃 聖地?!

高千穂町に発見!



鬼



高千穂町上野

おに 鬼 切り 切 石

最近では、漫画やアニメの舞台となった場所やキャラクター、作者の所縁のあるスポットを「聖地」とし、そうした場所を巡ることを「聖地巡礼」と呼ぶことが一般的になっています。地域振興や観光資源としても注目されていて、このような動きは地域を知ってもらう有効な手段でもあります。

昨年、漫画やアニメ、映画が大ヒットした「鬼滅の刃」ですが、全国各地のスポットが「聖地」として話題となっています。なんと高千穂町にも「聖地では?」とささやかれている場所があります。同町上野の鬼切畑集落に残る「鬼切石」です。石にはまるで刀で切ったような痕が残っています。

### 鬼切石の由来



刀で切ったような痕が残る高千穂町上野「鬼切石」

十社大明神（神武天皇の御兄三毛入野命・高千穂神社御祭神）が大和地方平定から高千穂にお帰りになってみると荒ぶる神 鬼八は力あるままに高千穂を領し美女を求めて乱行するなど民を悩ましていた。そこで命は鬼八を退治される事になった。鬼八は押方の乳ヶ窟から逃れて横原、三ヶ所内ノロ、諸塚、椎葉、米良山に入り肥後（熊本）の八代を経て阿蘇谷から祖母山に至り身をかくした。その後押方の二上山に帰るべく上野の当地に姿を現した。待ちかまえていた命は鬼八に一太刀切りつけたが太刀は外れてこの石を切ったといわれ今も太刀あどを残している。鬼八は負傷しその後市の堀（神殿）で退治されたが度々生き返るので三つに切り離され埋められた。三田井神殿に三つの墓がある。

～下組公民館～

本作では、主人公「竈門炭治郎（かまどたんじろう）」が鬼狩りの剣士となるための修行で、巨石を一刀両断するシーンがあります。修行相手の面を斬ったはずが、岩を斬っていたというシーンで、鬼切石の由来にも似たような部分があります。

この鬼滅ブームをきっかけに高千穂町の神話や伝説に興味をもつ方が増えることが期待されます。

Facebookページ 「ウキウキ！好き好き！ニシウススキ！」  
西白杵観光推進連絡協議会 公式Instagram 更新中！

発行/宮崎県 西白杵支庁 編集/総務課  
〒882-1101 宮崎県西白杵郡高千穂町大字三田井22  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里 高千穂郷「通信」

